



議会だより

令和元年

11 月

1 日号

おおたわら市 “題字は高野礼子議長”

No.192



17期大田原市議会議員

平成30年度 一般会計ほか8会計決算を認定

決算審査特別委員会



副委員長
高瀬 重嗣



委員長
小池 利雄



決算審査特別委員会の状況

決算の概要

本定例会では一般会計ほか8会計の平成30年度決算の認定議案が提出され、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

平成30年度の一般会計及び各特別会計を合計した歳入総額は541億463万301円、歳出総額は520億1589万5328円、歳入歳出差引残額は20億8873万4973円となりました。

なお、決算総額を前年度と比較すると、歳入は8億200万3309円(1.5%)、歳出においても6億3619万7976円(1.2%)それぞれ増加となりました。(各会計の詳細は下記のとおり)

■ 一般会計及び各特別会計別決算の状況 (単位：円)

区分	予算現額	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引残額(A)-(B)	
一般会計	37,318,750,733	35,633,568,094	34,553,485,019	1,080,083,075	
特別会計	国保	8,210,959,000	8,356,301,923	7,943,749,293	412,552,630
	下水道	2,135,808,000	2,141,906,240	1,977,718,981	164,187,259
	農業集落	198,400,000	192,215,167	169,077,457	23,137,710
	介護保険	7,098,110,000	6,957,435,352	6,607,895,875	349,539,477
	子育て支援	1,500,800,000	124,290,544	71,179,514	53,111,030
	後期高齢者	695,889,000	694,776,263	690,463,474	4,312,789
	須賀川財産	2,680,000	4,136,718	2,325,715	1,811,003
	小計	19,842,646,000	18,471,062,207	17,462,410,309	1,008,651,898
合計	57,161,396,733	54,104,630,301	52,015,895,328	2,088,734,973	

■ 企業会計決算の状況 (単位：円)

区分	予算額	前年度予算額	
水道事業会計	収益的収入	1,624,000,000	1,659,487,441
	収益的支出	1,570,000,000	1,517,963,998
	資本的収入※	266,342,400	247,732,219
	資本的支出※	867,505,600	816,926,208

※資本的収入が資本的支出に不足する額601,163,200円については、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金及び過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で全額補てんしています。

令和元年
第4回

市議会定例会

平成30年度
決算認定

令和元年第4回定例会は、去る9月2日から17日までの16日間を会期として開かれました。

本定例会に提出された案件は、報告2件、人事議案2件、「大田原市自転車利用の安全な利用に関する条例の制定」、「大田原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大田原市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定」など条例議案10件、平成30年度決算の認定議案9件、その他の議案2件、大田原中学校校舎増改築事業普通教室工事に係る工

事請負契約議案3件、令和元年度大田原市一般会計補正予算、令和元年度介護保険特別会計補正予算議案2件など合わせて議案30件が提出されました。

9月定例会では、前会計年度の歳入歳出予算の執行に関する審査認定を行います。審査は議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、常任委員会ごとの分科会と全体会を通して行い、認定されました。

最終日の本会議では、各常任委員長、決算審査特別委員長より付託案件の審査結果報告を受けた後、採決を行い、原案の通り可決されました。

一般質問は、3日間で13名の議員が質問を行い、詳細については、次ページ以降及び市議会のホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。

令和元年 第4回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議 案 件 名	結 果
報告第9号	市長の専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	報告受理
報告第10号	平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告受理
議案第54号	大田原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（深澤 道昭氏）	同 意 （全会一致）
議案第55号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（本田富士男氏）	推薦することに異議なし
議案第56号	大田原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決 （賛成多数）
議案第57号	大田原市自転車の安全な利用に関する条例の制定について	原案可決 （全会一致）
議案第58号	大田原市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （全会一致）
議案第59号	大田原市特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （賛成多数）
議案第60号	大田原市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （全会一致）
議案第61号	大田原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大田原市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （全会一致）
議案第62号	大田原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （全会一致）

議案番号	議 案 件 名	結 果
議案第63号	大田原市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第64号	大田原市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第65号	大田原市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第66号	平成30年度大田原市水道事業会計未処分利益余剰金の処分について	原案可決 (全会一致)
議案第67号	平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第68号	平成30年度大田原市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第69号	平成30年度大田原市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第70号	平成30年度大田原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第71号	平成30年度大田原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第72号	平成30年度大田原市子育て支援券特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (全会一致)
議案第73号	平成30年度大田原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第74号	平成30年度大田原市須賀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第75号	平成30年度大田原市水道事業会計決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第76号	大子町との八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の一部変更について	原案可決 (全会一致)
議案第77号	工事請負契約について	原案可決 (全会一致)
議案第78号	工事請負契約について	原案可決 (全会一致)
議案第79号	工事請負契約について	原案可決 (全会一致)
議案第80号	令和元年度大田原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第81号	令和元年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)

市議会では
インターネットによる
生中継をしています

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。

また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎23-8714

令和元年 第4回市議会定例会における表決状況一欄

議案	秋山幸子	印南典子	星雅人	鈴木央	滝田一郎	弓座秀之	櫻井潤一郎	高木雄大	高瀬重嗣	菊池久光	深澤賢市	中川雅之	大豆生田春美	小池利雄	藤田紀夫	君島孝明	前野良三	高野礼子	黒澤昭治	引地達雄	本澤節子	小野寺尚武	千保一夫	高崎和夫	小林正勝	前田雄一郎
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第68号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第71号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※高野礼子議長は採決に原則加わりません

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願 (陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)



《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者
住所
氏名
大田原市議会議長あて



一般質問 市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	星 雅人	①図書館の充実について	8	本澤 節子	①消費税について ②市の将来展望について ③市民要望に基づく市政の在り方について ④教育問題について ⑤ワクチン接種について ⑥高齢者対策について ⑦農・林業振興について ⑧焼却場問題について ⑨市民の声
2	滝田 一郎	①保育園の完全給食について ②温水プール利用者の安全・健康対策について ③那須地区広域行政事務組合最終処分場管理費及び整備事業費負担金について ④外国人の人口動態及び支援について			
3	菊池 久光	①土木遺産について ②テレビ難視聴地域への対応について ③選挙の投票率と投票所について	9	鈴木 央	①障害者優先調達推進法について ②大田原市のガン対策について ③大田原市火葬場について
4	大豆生田春美	①小中学生のいじめ早期発見、早期対応について ②消防団協力事業所表示制度導入について	10	中川 雅之	①旧那須中央農業共済組合について ②CLT(直交集成板)の普及・支援について ③消防団活動の推進について ④中心市街地活性化について ⑤関係人口について ⑥水辺公園の今後の取り組みについて
5	秋山 幸子	①子育て世代包括支援センター事業のさらなる拡充について ②本市主催で開催された「原爆写真展」について ③小中学校の桜など樹木の老木化及び植え替えについて ④青少年期から豊かな国際感覚を身に着ける相互交流事業の推進について	11	印南 典子	①学童保育について ②高齢者ほほえみセンターについて ③大田原市の観光施設について ④大田原市の子ども、子育て世帯、高齢者支援について ⑤与一まつり・大田原屋台まつりについて ⑥さらなる移住定住促進と高齢者のための住居の安定供給について ⑦大田原市の宝、清流那珂川の利活用について ⑧大田原市立中学校柔道事故調査報告について ⑨交通安全施策について ⑩私有空き地の管理指導及び空き家の有効利用について
6	弓座 秀之	①プロ競技団体への支援費について ②黒羽運動公園について			
7	高瀬 重嗣	①戦没者追悼式及び平和の塔祈念式について ②新庁舎グランドオープンについて ③大田原市を評価する各種調査について	12	小野寺尚武	①財政運営(財務書類)について ②市街地の都市計画区域の見直しで活性化を ③東京2020オリンピック聖火リレーの市独自の取り組みを要望する
			13	千保 一夫	①津久井市長の行政運営における基本姿勢について

※太字が掲載されている項目

図書館の充実に
ついて



星 雅人 議員

質問…貸出冊数、点数をふやしてはどうか伺います。視聴覚資料の貸出期間は1週間ですが、期限が2週間の書籍、雑誌とずれているため、視聴覚資料だけを先に返しに行かなければならないこととなります。貸出期間を延ばしてはどうか伺います。

答弁…貸出条件の設定は、図書は長編でも2週間、視聴覚資料も数時間あれば読了、視聴可能と判断しており、現状は利用に適した数量と期間と考えています。仮に貸出数の増加や貸出期間の延長を考えた場合、貸し出された状態の図書や資料がふえ、他の利用者への貸出期間が減少する懸念があり、現状維持が妥当であると考えています。不満と感ずる方もいますので、他の図書館の利用条件等も参考として、特に視聴覚資料の貸し出し

期間の延長について検討します。
質問…郷土資料の電子化の進捗状況を伺います。
答弁…郷土資料の電子化は、著作権等の権利が発生しないものを抽出し、令和2年度からPDF化に取り組む予定です。電子化後の資料の公開は、データがある程度蓄積され、活用しやすい環境が整えられた段階で公開方法も含めて検討します。

一般質問



滝田 一郎 議員

那須地区広域行政事務組合
最終処分場管理費及び整備
事業費負担金について

質問…共同一般廃棄物最終処分場整備事業の進捗状況について伺います。

答弁…広域クリーンセンター大田原で発生する焼却灰等の埋め立てが必要なものは黒羽グリーンオアシスに埋め立っています。その埋め立て期限が令和4年3月31日までとなっていますので、那須町大字豊原乙地内に新たな最終処分場の整備を進めていま

す。発注は、公募型プロポーザル方式で、結果、株式会社奥村組と36億9600万円で令和元年8月5日に仮契約を締結しました。本年11月ごろに建設予定地の伐採工事を行い令和4年2月28日の工期内完成を目指しています。大田原市の整備事業費負担金は、平成30年度が6164万3000円、令和元年度が3556万2000円です。

質問…黒羽グリーンオアシス事業について伺います。
答弁…埋め立て終了後は、最終覆土を行い、沈下等による異常の有無を2年間監視し、令和6年度から令和7年度にコナラ等の植栽を行う予定です。大田原市が負担する令和元年度水処理負担金は1247万円、埋め立て負担金は1372万円です。

テレビ難視聴地域への対応について



菊池 久光 議員

質問…テレビ難視聴地域では共聴組合を設立し、共聴設備を利用してテレビ電波を受信しておりますが、組合員の高齢化や共聴設備の部品の高騰等により組合での維持管理はもちろん組合の存続自体が難しくなってきたる現状があります。当該地域への対応及び支援や共聴設備改修等への助成について伺います。

答弁…市内には地理的条件や地上デジタル放送移行によりテレビ地上波を受信できない為、共同受信する設備を運営している共聴組合が複数あります。議員指摘のとおり、転出、転居等による加入世帯の減少や地域の高齢化による存続の不安について幾つかの組合から相談があり、現状は認識をしています。多くの組合では受信電波の増幅器や各戸への送信用の同軸ケーブル

等の設備部品の高騰、東日本大震災に伴う道路改修や不用電柱の建替に伴う維持管理費の増加等、対応に苦慮している状況です。本市としましては、国の政策で進めた地上デジタルテレビ放送の視聴に係る共聴施設の維持管理及び改修等に係る費用について国が負担、または補助する制度の創設を県及び市長会を通じ要望してまいります。

一般質問



大豆生田 春美 議員

消防団協力事業所表示制度導入について

質問…消防団協力事業所表示制度導入の考えはあるか伺います。

答弁…消防団協力事業所表示制度は、消防団活動に積極的に協力する事業所や消防団員である従業員を応援している事業所を、消防団協力事業所として自治体が認定する制度です。この認定を受けた事業所は、自治体から交付される表示証を掲示すること等により地域社会への貢献度

をPRできるものです。サラリーマン団員の消防活動については、多忙な業務を抱える中での活動であるため、他の従業員の理解や従業員の協力が不可欠です。このような協力事業所が増加することにより、特に昼間の火災等に出勤しやすくなりますので地域防災力の向上が図られます。本市においてこれまで機能別消防団員制度、準中型

運転免許取得補助制度及び消防団サポート制度等、消防団活動を支援する施策を導入して参りましたが、消防団協力事業所表示制度については県内導入自治体も多く、市内事業所からの問い合わせもありますことから、地域防災力の向上を図る上でも必要な施策と認識していますので、要綱等を整備し実施をして参りたいと考えています。

一般質問

プロ競技団体への
支援費について



弓座 秀之 議員

本市主催で開催さ
れた「原爆写真展」
について



秋山 幸子 議員

質問…現在大田原市ではプロスポーツ競技団体への支援を行っています。今年度栃木サッカーリーグは100万円、那須ブラーゼンには50万円を計上しましたが、団体への経済的支援という初期目的を達成したとの考えから、3団体とも50万円といたしました。

質問…支援費を支出する目的とメリットについて伺います。

質問…市民の願いでもあり、世界で多くの人々が核兵器廃絶を求める中、大田原市に於いて初めて「原爆写真展」が市の主催で開催されました。市民ギャラリーで行われた「原爆写真展」の見学者数や反響について伺います。

答弁…見学者数につきましては8日間で253名でした。ご覧頂いた方の声として「凄惨な状況で心が痛んだ」「戦争の悲惨さを改めて知る事が出来た」など、開催の主旨に理解を示すものでございました。

質問…大田原市に於いても、戦没者は3436柱、尊い命が戦争で失われました。次の「原爆写真展」には、市民からの貴重な写真や資料なども加えた写真展の同時開催で、市民がお互いに平和について語り合える会場

答弁…プロフェッショナルスポーツ団体支援費は、市と連携しスポーツの振興と青少年の健全育成、地域との交流を図るなど市の活性化に寄与する事が確実と見込まれる県内に本拠地を置くプロフェッショナルスポーツ団体を対象に交付するものです。プロ競技団体との連携交流により、地域の活性化が図られてきたと受けとめております。

質問…市民の願いでもあり、世界で多くの人々が核兵器廃絶を求める中、大田原市に於いて初めて「原爆写真展」が市の主催で開催されました。市民ギャラリーで行われた「原爆写真展」の見学者数や反響について伺います。

答弁…見学者数につきましては8日間で253名でした。ご覧頂いた方の声として「凄惨な状況で心が痛んだ」「戦争の悲惨さを改めて知る事が出来た」など、開催の主旨に理解を示すものでございました。

質問…大田原市に於いても、戦没者は3436柱、尊い命が戦争で失われました。次の「原爆写真展」には、市民からの貴重な写真や資料なども加えた写真展の同時開催で、市民がお互いに平和について語り合える会場

質問…市民の願いでもあり、世界で多くの人々が核兵器廃絶を求める中、大田原市に於いて初めて「原爆写真展」が市の主催で開催されました。市民ギャラリーで行われた「原爆写真展」の見学者数や反響について伺います。

答弁…見学者数につきましては8日間で253名でした。ご覧頂いた方の声として「凄惨な状況で心が痛んだ」「戦争の悲惨さを改めて知る事が出来た」など、開催の主旨に理解を示すものでございました。

質問…大田原市に於いても、戦没者は3436柱、尊い命が戦争で失われました。次の「原爆写真展」には、市民からの貴重な写真や資料なども加えた写真展の同時開催で、市民がお互いに平和について語り合える会場

答弁…市が持っている資料を基に充実した形で展開できれば良いと考えています。市民からの声の中に「ちよつと休めるような椅子を置いて頂けるとありがたい」というご意見もございました。来年以降そういった点も加味しながら展示していければ良いと考えております。

戦没者追悼式及び
平和の塔祈念式
について



高瀬 重嗣 議員

質問…慰霊の継承をどのように行っていくのか。

答弁…市内在住の遺族の方々も高齢化するとともに、年々減少

している。大田原市平和の塔管理委員会や大田原市遺族連合会の動向に歩調を合わせていく。

質問…日程や開催方法を考慮し、児童生徒もできるだけ参加できるようにすべきと考えるが、市の見解は。

答弁…教育委員会の意向を踏まえて、実施可能なものか協議していきたい。

質問…提案だが、戦没者追悼式には、慰霊とともに平和教育の一環として児童生徒にできるだけ参加してもらおう。一部代表者は追悼式に参加し、市長、議長、遺族会とともに追悼の言葉を実際に担当してもらおう。式典に参加しない児童生徒も中継された

映像とともに追悼に参加する。自分自身の生活圈や先祖につながる方にかつて戦没者がいらしたという距離的、血縁的な実感を持つてもらおう。児童生徒の参加を促す施策は、将来にわたる慰霊の継承に極めて有益である

と考えるが。
答弁…今後市長部局と協議してまいりたい。

一般質問



本澤 節子 議員

農・林業振興について

質問…有機農業推進の意義について伺います。

答弁…有機農業は、農薬や化学肥料を使用しないことで、より安全、安心な農作物を消費者に提供できるため推進すべき農法

とは考えておりますが、慣行栽培に比べて除草作業や病害虫防除などの管理作業の優劣が収穫を大きく左右することになり、農業経営に影響を及ぼす恐れが

ありますので、個々の農家の経営方針を尊重したうえで推進してまいります。

質問…学校給食に有機栽培米の使用を。

答弁…本市、小・中学校の学校給食において無農薬有機栽培米を使用するには個別に生産農家から仕入れなければならず、

安定的な供給の確保や購入価格の問題から使用することは考え

ておりませんが、地産地消の推進という観点から年二回実施しております大田原市産の食材を使用した「与一くんランチ」において、試験的に有機栽培米の使用を考えてまいります。

質問…小型の発電所の建設促進について伺います。

答弁…地域産業創出の実現を目指し、調査研究をし最大限の協力をしてまいります。

一般質問

大田原市火葬場について



鈴木 央 議員

質問…大田原市火葬場の建て替え計画についてお伺いします。

答弁…老朽化等の問題や那須塩原市からの利用者もいる事から平成24年度から那須地区行政事務組合に於いて広域的な運営や新たな建設等も含めて検討する事を開始しました。平成26年3月には那須圏域の火葬場事業広域化に関する調査報告書をまとめました。平成27年度中に耐震

診断及び老朽度調査を行い、耐震については補強不要であり、すが建設後30年程経過しており、長寿命化を図る為、必要最小限の箇所を修繕しながら運営を行っています。その後、広域化については合意に至らず、火葬場事業の広域化は見送り、今後は市単独での事業を模索していくこととなります。

質問…市単独での事業を模索と

の事ですが、旧西那須野町の方の利用件数等を勘案すると、今後も那須塩原市とも、いろいろな形で検討はされると言う事でしょうか。

答弁…そのような形になると思います。広域の会議等で打ち合わせ等もしながら進めていく、そういう形になろうかと思いません。

中心市街地活性化について



中川 雅之 議員

質問…大田原市起業再出発支援事業補助金及び大田原市事業再開奨励金を活用した中心市街地活性化の現状と今後の取り組みについて伺います。

答弁…中心市街地の活性化及び市内産業の振興を図るため、平成14年に事業再開奨励金交付要綱・平成24年に起業再出発支援事業補助金交付要綱を制定し補助金等の交付を実施。起業再出

発支援事業補助金については、対象を平成29年度に従来の中心市街地からその他商店街等地域に拡大し、今年度から限度額を引き上げ、店舗開業者及び店舗所有者に対し改装等に要する経費の3分の1、限度額100万円、既存店舗開業者の改装等に要する経費の3分の1、限度額50万円とする改正を行いました。平成30年度の交付実績は、14件

で、中心市街地6件、その他商店街等地域8件で、補助対象額は約2800万円、補助額が661万9000円となり、空き店舗の解消、創業者の育成支援や各地域の活性化に高い波及効果をもたらされていると考えております。今後とも補助金の適正運用に努め、実情に応じた制度の見直しを行い、広く制度の周知に努めてまいります。

与一まつり・大田原
屋台まつりについて



質問者席
印南 典子 議員

質問…40回を迎える与一まつりのリニューアルについてのご見解をお伺いいたします。

答弁…高く評価をされている与一まつりですが、反面いろいろと気候変動の中で武者行列、子供武者行列、熱中症になつてしまうのではないかとというようなご意見が毎回のようになり、関係者の方々からの投書、電話などで最近頻繁に起きてきております。

メインの事業がそういった状況ですので、いろいろ工夫し、開催時間を遅らせたりとか、やっているわけですが、安心とまでいきつかないまま、何とか綱渡りをしながら、今年も盛会のうちを終了したわけです。来年40回を迎えますが、実は世界のイベント東京オリンピックがやっています。同じ時期です。市民の皆様方の負担、職員の皆さん

への負担、ボランティアの皆さんへの負担、東京オリンピックをどのように見るか、全体的な背景から吟味をし、リニューアルをするのであればどうリニューアルをしたらいいかを市民の皆様方と意見を交わし合いながら、しっかりとした40回の大会をやるように進めていきたいと思っております。

一般質問



質問者席
小野寺尚武 議員

市街地の都市計画区域
の見直しで活性化を

質問…積極的に市街地の用途地帯の見直しを行い、地域の活性化や、にぎわい創出を後押しすべきであるこれらについて伺う。

答弁…用途地域につきましては、都市計画法の地域地区の一つで都市の機能性、安全性、利便性、快適性等の推進を目的として指定しており、住宅地、商業地、工業地等、主要な構成要素の配置及び密度について公共施設と

のバランスに配慮し、定められた土地利用に基づき土地利用の現況及び動向を勘案しながら定められ、都市の計画的土地利用を実現する為の根幹とするものです。また将来のあるべき市街地像に変更が生じた場合と土地利用の動向、都市基盤施設等の整備状況が見直される場合に用途地域を見直す事としています。

線から国道400号と市役所通りの一角で第2種住居地域を商業地域か近隣商業地域に見直すべきである。

質問…3・3・2号大田原野崎

答弁…商業地域・近隣商業地域の拡大は基本的に用途地域を指定する事でありますが、唯一、商業地域は建物を建てる制限がなくなるため、商業地域の拡大に関しては慎重に考えながら進めていきたいと思っております。

委員会行政視察

議会運営委員会

7月29日～7月31日(所管事項調査)

一 北海道帯広市

「議会改革の取組みについて」

帯広市は、議会基本条例の制定とともに、市民が議会を評価できる基準を策定するなど様々な議会改革の取組みを行っている。特に議員政策研究会の立ち上げや市民との意見交換会(地域・お出かけ)を積極的に取り組んでいる。

二 北海道芽室町

「議会基本条例と議会改革の取組みについて」

「政策形成サイクルと研修計画について」

芽室町は、全国屈指の議会改革先進地であり、活性化計画、モニター制度、政策形成サイクル、北大連携協定、議会サポーター制度、議会災害時対応計画等の様々な議会改革の取組みを行っている。

三 北海道大樹町

大田原市と大樹町は、平成30年9月に災害時における相互応援に関する協定を締結。

大田原市議会として、大樹町議会を敬訪問し、災害時の応援協力についての意見交換を行った。



芽室町議会にて

議会報告会 報告書提出



広報広聴委員会では、7月に行った市議会報告会において、参加して頂いた市民からのご意見の中から、特に市内全域に関わる課題についてとりまとめ、議長及び市長へ報告書を提出しました。



櫻井委員長から議長へ提出

市議会としては、市内全域に関わる課題、またその地域ごとに抱える深刻なご意見を直接伺うことが出来ました。貴重なご

意見を議員各位がさらに精査するとともに、一般質問や情報提供等様々な形で市に伝えてまいります。
今後とも議員一同、議会の活性化を図り、市民の皆様の負託に的確にこたえ、開かれた議会運営に努めてまいります。
なお、市長へ提出しました報告書については、市議会ホームページからご覧になれます。



市長へ報告書を提出

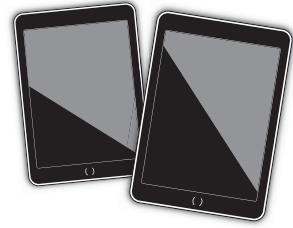


かつて議論を交した旧議場

大田原市議会は
市民の皆様の
色々な言葉を
市政に反映する
市民の
代表機関として
より開かれた
親しみやすい
議会を
目指します



タブレット導入

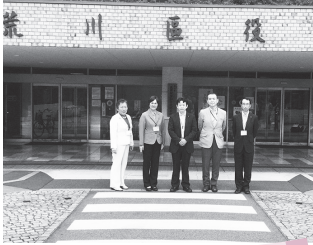


新議場での審議の様子



あれこれ

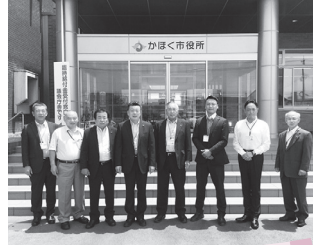
H28~R1



H28建設 産業常任委員会
MACC(マック)プロジェクトについて



H28総務常任委員会
大衆防災拠点広場



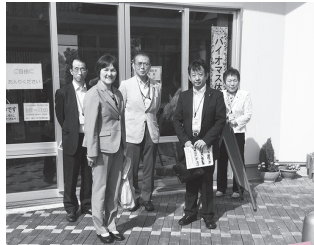
H28総務常任委員会
定住促進の取り組み



H28議会運営委員会
知多市における議会活性化及び議会
報告会について



H28総務常任委員会
アオーレ長岡について



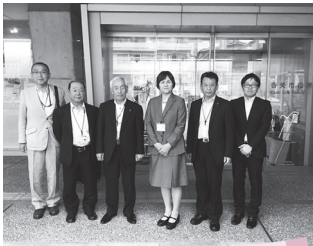
H28建設産業常任委員会
バイオマスタウン構想について



H28建設産業常任委員会
町並み修景事業について



H29民生常任委員会
福山市リサイクルプラザ



H29建設産業常任委員会
鳥獣被害対策について



H29民生常任委員会
縁結びサポーター養成講座



H29議会運営委員会
視察対応プロジェクトについて



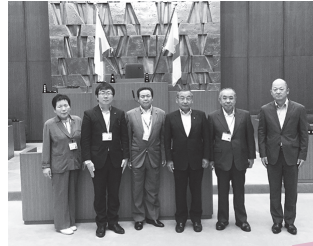
H29議会運営委員会
議会改革の取り組みと議会運営全般について



H29文教常任委員会
国際子ども図書館について



H29議会運営委員会
議会運営全般について



H29文教常任委員会
校務支援システムについて



H29文教常任委員会
小規模校について



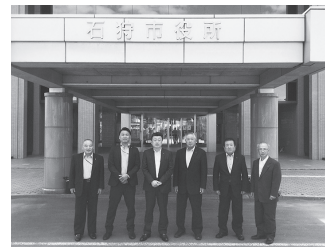
H29民生常任委員会
子どものショートステイ事業



H29建設産業常任委員会
地産地消について



H29建設産業常任委員会
移住支援・人口減少対策について



H29総務常任委員会
地区防災訓練について

行政視察



H30民生常任委員会
健康福祉センターうるみんについて



H30議会運営委員会
資生堂工場内現地視察



H30議会運営委員会
議場見学事業について



H30議会運営委員会
議会モニターについて



H30文教常任委員会
キャリア教育について



H30議会運営委員会
事業評価について



H30建設産業常任委員会
下水道事業の企業会計移行及び
下水道ビジョンについて



H30文教常任委員会
唐津市における文化財保護について



H30建設産業常任委員会
観光行政及び信州千曲観光局の
設立について



H30文教常任委員会
放課後児童クラブと放課後子ども教室の
密接な連携体制について



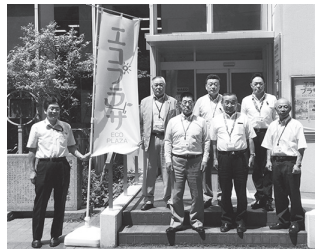
H30議会運営委員会
議会改革の取り組みについて



H30民生常任委員会
エコモール那覇プラザについて



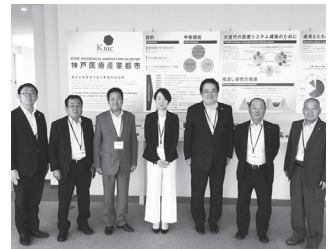
H30建設産業常任委員会
創業支援策について



H30民生常任委員会
港区エコプラザについて



R1建設産業常任委員会
耕作放棄地発生防止・解消活動の
取り組みについて



R1建設産業常任委員会
神戸医療産業都市事業について



R1文教常任委員会
高岡市における文化財保護について



R1建設産業常任委員会
栃木県大阪センター事業について



R1文教常任委員会
図書館と美術館の併設について



R1文教常任委員会
学力向上の取り組みについて

協議会及び委員会の内容

7月～9月

全員協議会

◆7月12日
(報告事項)

- 1 原爆写真展の開催について
- 2 幼児教育・保育の無償化及び大田原市独自の補助制度について
- 3 第39回与一まつりの開催について
- 4 那須地区消防組合議会臨時会報告について

◆8月8日
(報告事項)

- 1 平成30年度地方創生推進交付金事業の実施状況について
- 2 大田原市移住支援金交付金事業の実施について
- 3 平成30年度男女共同参画に関する年次報告書について
- 4 敬老関係事業について
- 5 第9回幸齢者スクールの開催について
- 6 第77回国民体育大会大田原市準備委員会第2回総会及びいちご一会とちぎ国体・とちぎ大田原市実行委員会(仮称)第1回総会の開催等について
- 7 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について
- 8 第4回議会報告会報告書

(協議事項)

の提出について

- 1 大田原市民生委員推薦会委員の推薦について

◆8月26日

- 1 災害時におけるタブレット端末の活用(再確認)について

◆9月17日
(報告事項)

- 1 第3次大田原市行政改革大綱に基づく年度別実施計画の平成30年度実績について
- 2 人権ミニフェスタの開催について
- 3 大田原市新庁舎グラウンドオープン式典の開催について
- 4 平成31(令和元)年度「全国学力・学習状況調査」及び「とちぎっ子学習状況調査」の結果について
- 5 第17回大田原市文学サロン(総合テーマ:家族と文学)の開催について
- 6 大田原市史編さん基本方針について
- 7 那須地区広域行政事務組合臨時会の報告について
- 8 議会運営委員会行政視察の報告について

総務常任委員会

- ◆9月9日
1 付託議案の審査

民生常任委員会

- ◆9月9日
1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

- ◆9月10日
1 付託議案の審査

議会運営委員会

- ◆8月26日
1 令和元年第4回市議会定例会の招集について
- 2 提出された議案等について
- 3 会議日程について
- 4 一般質問の割り振りについて
- 5 請願・陳情の取扱いについて
- 6 平成30年度決算審査について

決算審査特別委員会

- ◆9月4日
1 委員長及び副委員長の互選について
- 2 分科会の設置について
- 3 会議日程について

◆9月9日

- 1 各分科会(第1分科会、第2分科会)

◆9月10日

- 1 各分科会(第3分科会、第4分科会)

◆9月11日

- 1 全体会

広報広聴委員会

- ◆7月4日
1 議会だより(8月号)の内容確認について
- 2 議会報告会の報告書作成について

◆7月12日

- 1 議会だより(8月号)について

◆7月22日

- 1 議会報告会の反省点について

◆8月26日

- 1 大田原市議会報告会実施要綱の見直しについて

◆9月20日

- 1 議会だより(11月号)について



7月

議会 会 日 誌

- 3日○議会報告会（民生常任委員会所管）
- 議会報告会（総務常任委員会所管）
- 4日○議会報告会（文教常任委員会所管）
- 広報広聴委員会
- 5日○茨城県潮来市議会行政視察対応
- 8日○大分県九重町議会行政視察対応
- 10日○議会報告会（建設産業常任委員会所管）
- 那須地区消防組合議会臨時会
- 埼玉県桶川市議会行政視察対応
- 12日○全員協議会
- 広報広聴委員会
- 17日○那須地区広域行政事務組合議会臨時会
- 22日○広報広聴委員会

9月



8月

- 2日○令和元年第4回市議会定例会招集（議案上程）
- 4日○本会議（議案質疑・一般質問）
- 決算審査特別委員会

- 24日○第300回栃木県市議会議長会議
- 29日○議会運営委員会行政視察（北海道帯広市、芽室町、大樹町）
- 5日○栃木県下野市議会行政視察対応
- 7日○北海道札幌市議会行政視察対応
- 8日○会派代表者会議
- 全員協議会
- 9日○那須町行政視察対応
- 21日○県北5市議長会議
- 26日○議会運営委員会
- 全員協議会（臨時）
- 広報広聴委員会
- 27日○那須地区広域行政事務組合議会臨時会



- 5日○本会議（一般質問）
- 6日○本会議（一般質問）
- 9日○総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 決算審査特別委員会第1及び第2分科会
- 10日○建設産業常任委員会
- 決算審査特別委員会第3及び第4分科会
- 11日○決算審査特別委員会全体会
- 17日○本会議（議決）
- 全員協議会
- 議会活性化特別委員会
- 20日○広報広聴委員会



令和元年

12月定例会

開催のお知らせ

会期(予定) 12月9日(月)~12月19日(木)



※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

市議会HPはこちらから

市議会を傍聴 してみませんか

市議会本会議及び各委員会は、一般に公開しております。

市民はもとよりすべての人が傍聴できます。市議会の活動や市政の方針など実際に見聞するために、ぜひ、傍聴してみてください。本会議に提出される議案書は市のホームページにおいて開会前に掲載されます。

また、本会議においてはインターネットによる生中継を実施しております。ご都合により議場へお越し頂けない場合はインターネット生中継をぜひご利用ください。

次回の市議会定例会は12月から行われる予定です。詳細な日程等につきましては、大田原市議会ホームページ等で随時お知らせいたします。

問い合わせ先

大田原市議会事務局

☎ 23・8714



〈黒羽向町〉

小林 雅子さん



黒羽商工会女性部のメンバー11人と9月5日定例議会を、傍聴させていただきました。参加者のほとんどのメンバーが、初めての傍聴で、新しい議場内の議員さんの席が、私達傍聴者の下にあるのに驚き、市長さんをはじめ、答弁する市職員の方が正面席にいますので、テレビで見ている国会中継とは様子が少し違うと感じました。また、新庁舎に来ることは、ほとんど無いのですが、すべてが新しくなった庁舎の最新設備に感心しました。

議員さんは、皆さん大変良く勉強していて、よく調べていると思えました。鋭い質問に対して、市長さんや各担当者の答弁に、納得いくもの、そうでないものなどがあると思えました。普段テレビや新聞に出ている問題が、大田原市として、どう解決対応しているか、大田原市だけでは、

対応できなくて、市より県や国の対応になることなど、問題が多岐にわたっていると思いました。

私は市職員の数を、ザッと数えてみましたら、女性の幹部の方が、思ったより少ないと思えました。人口の半分は女性なのに、市はまだ男性職員ばかりなのです。女性職員は、結婚子育て介護と何かと忙しく、大変だとは思いますが、もっと女性を登用していただけると、良いと思えました。なるべく半数に近づけて欲しいと思いました。

今まで、議会には関心がありませんが、また機会があれば傍聴に参加したいと思えました。これからも、住みよい大田原のために、市長さん、議員さん、職員の皆さん、頑張ってください。